

科目番号	29	科目名	滋賀論	
英文科目名				
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5201
担当教員	森 雄二郎 (人間 学部 講師)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 (対面・遠隔併用)			
教室名		会場	聖泉大学	
授業期間	2022年6月 日() ~ 2022年7月 日() <毎週 曜日> 時限・講時 9 : 00 ~ 17 : 50			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		30	%
	平常点(出席・授業態度)		70	%
	その他()			%
別途負担費用	なし		(あり) 5,000)円
その他特記事項	フィールドワークへの参加は必須、欠席連絡必要 対面予定。ただし、感染状況により遠隔授業に変更となる可能性あり。			
<講義概要・到達目標>				
<講義概要> 滋賀県が持つ独自の風土や歴史文化に関する理解を深めることを目的とする。授業形態は、講義とディスカッション(10回分)、現場を巡るフィールドワーク(5回分)とする。フィールドワークは、1日かけて琵琶湖周遊船に乗船し各地を巡る予定である。履修するにあたり琵琶湖周遊船の乗船料(約5,000円)が必要となる(第1回目の授業で徴収、キャンセル・払い戻し不可) 集中講義(3日間)で開催する。(6~7月の土曜日で日程調整中)				
<到達目標> (1)滋賀県の風土、歴史文化の特性について理解し説明できる。 (2)滋賀県下における地域の現状と課題についての的確に把握し整理することができる。 (3)地域資源を活かした地域づくりについて、具体的なアイデアや構想を提案することができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	6月~7月	オリエンテーション		
2		地域特性の把握①		
3		歴史・文化資源の活用①		
4		歴史・文化資源の活用②		
5		地域特性の把握②		
6		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)①		
7		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)②		
8		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)③		
9		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)④		
10		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)⑤		
11		滋賀における政策課題①		
12		滋賀における政策課題②		
13		地域資源としての琵琶湖の保存と活用①		
14		地域資源としての琵琶湖の保全と活用②		
15		まとめと総括		
<教科書・参考書> 各講義内容に応じて、資料等を提示、配布する。				